

内部評価の結果

【評価結果】

事業実施に向けた準備を継続することとし、より事業内容が具体化された後に、事前評価 2 を行うこととする。

【評価理由】

【事業の目的】

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与するもの。

【事業の概要】

門司港地域内に点在する類似の設備（「ホール」、「会議室等」、「図書館」、「庁舎」）を持った門司市民会館、門司生涯学習センター、門司勤労青少年ホーム、門司図書館、旧国際友好記念図書館、門司区役所庁舎、港湾空港局庁舎を、門司港駅付近に集約する。

【集約先の選定】

北九州市公共施設マネジメント実行計画の中で、門司港駅周辺において、複合公共施設が整備可能となる一定の敷地面積を確保できる場所は駅東地区（案 A）と駅西地区（案 B）の 2 箇所としており、2 箇所について比較を行った上で、駅東地区（案 A）を集約先として公共事業調整会議に諮った。

◇財政面の比較

駅東地区（案 A）と駅西地区（案 B）の概算総事業費（イニシャルコスト及びランニングコスト（年間））を比較した結果、財政面では大差はないこと。

◇性能面の比較

説明会、懇話会でのご意見、鉄道やバス停からの交通アクセス、施設配置等、性能面では、駅東地区（案 A）の方が優れていること。

【対応方針案】

その結果、駅東地区（案 A）を複合公共施設の集約先として、基本設計等の事業の検討を深め、より事業内容が具体化された後に、事前評価 2 を行うこととする。

なお、公共事業調整会議では、集約した施設の跡施設・跡地の活用の方向性について、事前評価 2 の段階までに整理するよう意見があったため、今後、複合公共施設の検討に併せて、跡地・跡施設の方向性についても整理を行う。